

【生活協同組合コープみらい様：令和4年9月2日締結】



見守り活動事例

【事例1】

対象者：一人暮らしの高齢のお客様
状況：奥様が半年前に他界されてしまい、その後、食事面の心配から宅配をご利用頂く事になりました。



対応：お一人になった事で寂しさがあったようですが、週1回の配達担当者との会話を楽しみに、利用をされています。担当者との会話にも慣れて来て、「以前より明るくなった印象をお受けします。」と担当者からも、ご利用の様子を聞いています。

【事例2】

対象者：近くに住む女性
状況：配達先のコンビニで高齢の女性の方がお困りの様子。



対応：担当者が事情を伺うと、いつも常備している市販薬を家に置いてしまったとの事、担当者が「近くのドラッグストアで良ければ購入して来ます。」とお声かけをして対応し、後日、感謝のお言葉をコールセンターに入電を頂きました。

【事例3】

対象者：一人暮らしの高齢の組合員様
状況：体調を崩されて買い物や食事作りができなくなった。



対応：週5日夕食宅配のご利用をいただき、ご利用後は毎日お会いして商品の手渡しをしていました。ただ、この日はインターフォンを押しても出て来られずに電気はついているようでした。心配で地域包括支援センターへ相談のお電話をしたところ、本日はお出かけをされているとの情報をいただきました。

【事例4】

対象者：一人暮らしの組合員様（男性）
状況：奥様が亡くなられて夕食宅配をご利用いただいた方



対応：月曜日に夕食宅配のお届け時に金曜日に玄関前に置いていたお弁当がそのまま残っていました。すぐに地域包括支援センターへ連絡をしたところ、ケアマネージャーの方と確認をしていただき、金曜日入院をされたという情報をご提供いただきました。

事業者様からのメッセージ

板橋区では3つの宅配センターが商品のお届けと併せて、ご利用者様が安心して利用頂けるように、地域包括支援センターとの連携を『ともにの力で』強化し、今後も日々の業務を進めていきます。